

ライオンズクラブ国際協会 335-D

キャビネット通信

DISTRICT 335-D



熱く・明るく・楽しく

Vol 13 2024年5月

本キャビネット通信は不定期発行です

2023年～2024年

本通信は情報の伝達のために発行しております。内容詳細やガバナーの想い、ガバナーの熱意については、担当ゾーン・チェアパーソンからお受け取りください。

素晴らしい感動をありがとうございました

地区年次大会委員長 本庄 正人 より

4時14分に合わせるために時間を前に前に詰めて進行した結果、ナント4時2分に一斉ローア以外の演目が終了してしまい、12分引っ張らなければならなくなりました。頭の中は真っ白です・・もちろん使えるようなネタなんてありません。必死にしゃべり出したものの、ステージ上でガバナーと目線で「どないしょ?」とうろたえておりました。いっぽうで、私はガバナーL廣田とは同期の入会で、新人の頃にはクリスマス例会やガバナーがクラブ会長の時にも、ふたりで創作劇の余興をやった経験があります。私が脚本を書き、ガバナーの事務所で何度も何度も練習した経験があります。彼となら何とかなる・・そんな思いで12分を繋ぎました。晩餐会に予定していた韓国ライオンの紹介をここに入れ、それでも空白が残ったとき、素晴らしいタイミングでガバナーが新会員のインタビューを入れてくれました。新会員の所属クラブを聞いた時、会場のクラブから歓声が上がりました。振り返ってみるとこの時新会員インタビュー、もっと言えばこのクラブの新会員、とそのクラブ、そしてインタビュアーがガバナーという、このピースが何一つ欠けても、414の瞬間への感動に繋がらなかったと思っています。もちろん、会場におられた各クラブの皆様の「よし、付き合ってやろう!」という気持ちでステージでうろたえる我々にはヒシヒシと伝わり、支えていただきました。

あの・・・全員でのローア・・単なるローアと言ってしまうと、そうなのですが、全員で声をあげるだけで、なんであんなに感動的になるんでしょう!! ステージから正面に飛び込んでくる皆様の声と姿! あの瞬間、言葉が詰まって泣きくずれてしまいました。醜態をお見せしてすみませんでした。

あれから数日が過ぎましたが 出会うライオンみんなに褒めていただくのですが、泣きじゃくる子供の背中をポンポンしながら慰めていただいているようで気恥ずかしい限りです

今回の年次大会でハッキリわかったことがあります。地区年次大会は誰のものでもなく、参加したみんなが楽しむべきものなのです。そして、みんなのローアは有名人ゲストより価値があります!! 不手際によりご迷惑をお掛けした部分もあるかとは思いますが、心より感謝申し上げます。

引き続きご協力宜しく申し上げます

青少年育成委員長 黒田 昌弘 より

YCE(冬期派遣学生及び受入学生)、ライオンズクエスト、薬物乱用防止ならびに青少年育成セミナー等において、皆さんには色々ご協力頂きありがとうございました! YCEでは3年間ぶりの活動でもあり、戸惑う事も多々ありましたが、学生の本当に嬉しそうな顔を見、また彼らの成長を感じる事でこの事業の重要性を再認識しました。そういった未来ある子ども達の健全育成を目的とした、ライオンズクエスト等の青少年育成事業に携われる事、嬉しく感じています。最近では姫路も含め、観光地は多くの外国人で賑わっております。是非、YCEの活動に参画頂き、子ども達の成長を通じて多文化共生への理解も深めて頂ければと思います。そして、既にご案内している通り、YCEでは2024年夏の派遣と受入の準備を進めています。

これからまた忙しくなりますが、是非とも皆様のご協力宜しくお願い致します!